

「ヘルペス手記」匿名希望 40歳

2014年9月3日

はじめまして。お陰様で通常の生活を過ごすことが出来るようになりましたので、わたくしが経験いたしました事をお伝えする番になりました。わたくしの文章はつたなく、また、この経験が大変すぎてあまり記憶になく、手記用に記録した毎日の記録を読み返しながら、インタビュー形式でお伝えさせていただこうと存じます。あなた様の今の状況にお力添えさせて頂きましたら幸いに存じております。

Q、あなたの個体（身体）を教えてください。

A、わたくしは40歳、女性、体型やせ形の筋肉質、消化器の手術歴無。

Q、病院履歴を教えてください。

A、3年間、アサコールやペンタサを処方して下さる病院に通院。その後松本医院で1年3か月治療をしていただきました。松本医院へ来る前は、薬（アサコール等）は一日の限量を処方。一時入院をして、ステロイドにて、熱を含む炎症を下げた期間が2週間ありました。

Q、現在の個体（身体）の状況を教えてください。

A、排便回数は一日一度、腹痛もなく、熱もなく、下痢もなく、生活に何も問題はなく、不便も感じておりません。一般的な健康と言われる身体だと思っています。

Q、なぜ松本医院を選びましたか？

A、3年間一般病院の医師（アサコール等を処方）のアドバイス通りにしていましたが、アサコールが私の身体には大きな変化をもたらさなかったからです。ほかに方法があるのでと調べましたが、この病気に関して「完治」という事を主張されている病院が松本医院のみ（今はわかりませんが、当時（2013年春）、私の知る限り）だったからです。

Q、大阪はご自宅から遠いようでしたが、通院はどのようにされておりましたか？

A、電話で薬（漢方）を処方して下さるので、通院の必要はなく実際の通院は4度ほどだったと思います。

Q、松本医院にかかわった期間を教えてください。

A、漢方を処方していただいてから1年と3か月、リバウンド期間は8か月です。

Q、松本医院に通う前は身体はどのような状態でしたか？

A、時々（月に2度ほど）、微熱がでており、イチゴジャムのような血便が3年間ほぼ毎日、出続けていました。それ以外の症状はありません。

Q、松本医院に通い始め、血便はいつまで続きましたか？

A、漢方を飲み始めてからも血便は（量も変わらず）出続け、ちょうど一年したころに、ぴたりと出なくなりました。漢方を飲み始めてからの血便は、イチゴジャムではなくさらさらとした血液に変わりました。

Q、リバウンドはどのようなものでしたか？

A、「熱 38℃が継続」「一日 15 回ほどの下痢」「急激な体重の減少（約 10 キロ）」「腹痛」「全身のひどい筋肉痛のような倦怠感」「めまい」「不整脈」です。

Q、リバウンドの具体的な症状を教えてください。

A、手記用に残した記録をふりかえりますと・・・漢方を飲み始めてすぐに（数日以内）出た症状は、便の量が3倍に増え、ゆるくなり始めました。

↓

1 か月後、（そこから2週間くらいにかけて）、一日15回ほどの下痢が始まりました。

↓

さらに1か月後、下痢もおさまり、一日5回ほどの下痢になりました。微熱（37℃）が毎日始まり、腸にガスが溜まりはじめるようになりました。

↓

2 か月後、状態は変わらず体重が2週間ほどで突然5キロ減。

↓

ここからが（3か月間）本格的なリバウンド開始です。体重がさらに2週間で5キロ減、熱は毎日38℃、体が痛く、ほぼ眠れない。排便回数は一日15回以上、一日をほぼお手洗いで過ごしました。腹痛は常に存在し、食後が特にひどく、立ち上がる事やしゃべる事が出来ず呼吸がやっとだったようです。

↓

一時的に症状（下痢、熱、腹痛、体の倦怠感）がおさまりはじめ、肌に乾燥を感じ始める（この間2か月）。

↓

下線部と同じ症状のリバウンドが再来し、食事をして1時間以内にそのまま排出されるようになりました。初めてエレンタールを摂取。その後、食事は一切取らず、エレンタールのみで1か月過ごしました。

↓

ある日、突然、血便がなくなり、体調が良くなり始め、次の週には、食事（お粥や豆腐など）がとれるようになりました。次の週には週に1キロほど体重が戻り、体重はそのまま1週間ごとに1キロもどりました。排便回数も1週間ごとに1回ずつ減り・・・本当に突然毎週毎週体が戻ってくるのを感じておりました。8か月間外出が出来なかったのですが、今週はゴミ捨てが出来るようになり、次の週は近所に買い物ができるようになり、次の週は・・・というように外出距離が増え、劇的に体の機能が復活するのを感じておりました。

（2014年6月にはこの病気特有の症状は体感にありません。）※2014年9月現在に至り、さらに健康を取り戻しているように感じております。

突然の（嬉しい）劇的な出来事なので、毎日が新鮮で毎日が感動したことは今でも鮮明に思い出します。

Q、アトピーはいつごろでしたか？

A、私はアトピーは出ておりません。「アトピーは出なくても治るケースもある」と松本医院の先生に教えて頂きました。

Q、漢方は毎日飲んでいましたか？

A、のみ忘れたのは、1年3か月を通して2日位だったと思います。どんな場所に行っても、どのような時でも、必ず飲み続けました。

Q、治療中、不安はありましたか？

A、「いつまで漢方を飲み続けるのか」「本当にこの方法で進めて良いのか」「わたくしの場合にはなおらないのではないか」この3つの不安は治療中しばらく心にございました。しかしながら、今はそれらの全てが私の現在に存在しておりません。不安を打ち消す方法は、自分の体の事を良く知る事、そしてこの病に対して松本医院の出すHPの先生の論文やその他書籍からなどで知識を増やす事と存じます。

Q、松本医院はどのような診療でしたか？

A、2週間に一度、電話診療で、その時の状況を伝えます。

Q、対面ではなく電話で病状を伝えられますか？

A、自分の体に起こった事をそのまま伝える事で私は問題ありませんでした。ポイントは、本当に全て伝える事、「〇〇が痛い」「〇〇になった」自分の体の変化に敏感になる事だと思います。松本先生は症状によって薬や漢方を変えて下さいました。心臓に激痛が走ったり（1日だけ、5～6時間）、目が真っ赤になったり（1日だけ）、他にも意外な症状が出ました。

Q、松本先生は頼りになりましたか？

A、経験が豊富でいらっしゃるので、私が伝える前に「〇〇にならへんか？」と聞いてくださるので、自分の気付かない症状も見つけて下さり、安心できました。

ここまでです。

現在のわたくしの状態まで導いて下さった、「絶対に治るんや！わしが治すんちゃうで、自分の免疫が治すんや！」と叱咤激励をし続けて下さり、孤高なる松本医院の院長先生、お若いながらも院長の豊富な知識を受け継ぐ息子さん先生、そしていつもお優しい松本医院の受付の方々、お会いするたびに元気やきめ細やかなご指導を下さる松本医院のお灸の先生、わたしの体に栄養を注ぎ続けて下さった食物達やエレンタールそして漢方、最後に毎日仕事から帰り私の代わりに家事をこなし、そして毎日私の身体にお灸をしてマッサージをし、そばで見守り続けて下さった私の伴侶に、そして私にかかわって下さった皆々様に深く感謝申し上げます。

そして最後に、どのような状況でも生きようと奮闘し、どのような時でも私と共に人生を歩み、このような病気の辛いときにでも、私にたくさんの事を教えてくれた私の身体に小さなわたくしの心からあふれる愛と感謝を申したいと存じます。

皆様の手記を拝見していると、元気づけられます。

ステロイドを体内に取り入れ、また、長期間市販薬を使用し、血便が何年も続いており、生理という天然のステロイドが出ている自分の身体には、手記に書かれているような奇跡は起こらないかもしれないと思ってしまいましたが、私にも奇跡が起こったように存じます。

この病気を通して「治癒」という本質を勉強させていただきました。

どうか、あなた様が本当のあなた様を目覚めさせる期間となりますように。

次の奇跡を起こすのは、あなた様の番だと願っております。